



BORLAND® DEVELOPER CAMP

## 「JBuilder 2006 ピアツーピア開発」

ボーランド株式会社  
デベロッパーツールズ事業本部  
藤井 等

**Borland®**

Copyright (C) 2006, Borland Software Corporation. 本文書の一部または全部の転載を禁止します。

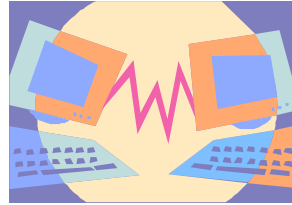


BORLAND® DEVELOPER CAMP

## JBuilderのピアツーピア開発機能とは

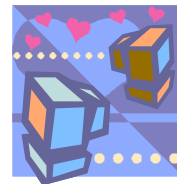
## ピアツーピア開発機能

- 2人のユーザーがJBuilder上で開発作業を共有するインフラを提供
  - ピアの自動検出、接続
  - ファイルの送信
  - スタックトレースの送信
  - JBuilder 間チャット(LAN のみ)
  - プロジェクトの共有
  - 共有編集
  - 共有デバッグ
  - セキュリティ(暗号化/認証)
  - リモートアクセス(WAN)
  - Jabber クライアント(リモートピアとのチャット)



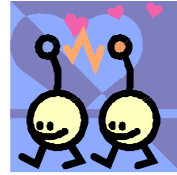
## ピアツーピア機能で何ができるか？

- 開発者同士のコミュニケーション、情報交換
  - チャット、ファイル転送など
  - メッセンジャーやスカイプなど他のツールでも可能だが IDE内で使えることがメリット(他の機能と併用することでメリットが出る)
- プロジェクトの共有
  - ローカルにあるプロジェクトをリモートの他の開発者と共有できる
  - 問題箇所についてディスカッションしたり、修正できる
- 共同でデバッグ
  - デバッグ作業をリモートの他の開発者と共有できる
  - 問題の特定のため、リモート開発者のヘルプが得られる



## ピアツーピア機能をどう使うか？

- 常時共有はナンセンス、必要なときにつなごう
  - XPプログラミングであっても、常にプロジェクトを共有して開発する必要性はほとんどない
  - 問題が発生した場合、懸案を共同で片付けようというときに接続する
- 共同編集／デバッグはピンポイントの修正に有効
  - 特定のバグ修正や修正提案を吟味するのに有効
  - その場で修正案を確認し、実行してみることができる
- バージョン管理ツールなどでプロジェクトを共有していない場合
  - 「ちょっとファイルを確認する必要が出てきた」というときに、いちいちバージョン管理ツールへのアクセス権を設定し...云々とやるのは面倒
  - ピアツーピアなら、簡単な操作で一時的にプロジェクトを共有可能

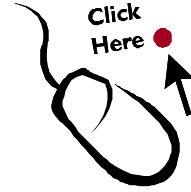


BORLAND® DEVELOPER CAMP

ピアツーピア開発機能を使う

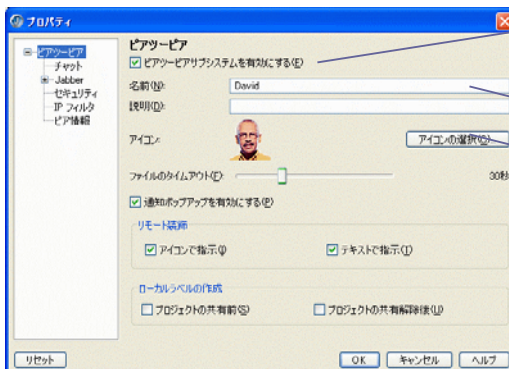
## ピアツーピア機能を使う前に

- JBuilder 2006 Service Pack 3をあてよう
  - ピアツーピアに関しては...
    - ピアのチャットログ表示の履歴ビューワーでUTF-8をサポートしていない問題の解決
    - ピアツーピア機能をサポートするオープンソースプロジェクトを最新バージョンのものに更新
  - Service Pack 3のあて方
    - [http://www.borland.com/downloads/registered/download\\_jbuilder.html](http://www.borland.com/downloads/registered/download_jbuilder.html) から Service Pack 3をダウンロード
    - ダウンロードしたファイル(jb2006\_servicepack\_03.zip)をJBuilderのホームディレクトリに展開



## ピアツーピア設定

- [コラボレーション | ピアツーピアプロパティ]



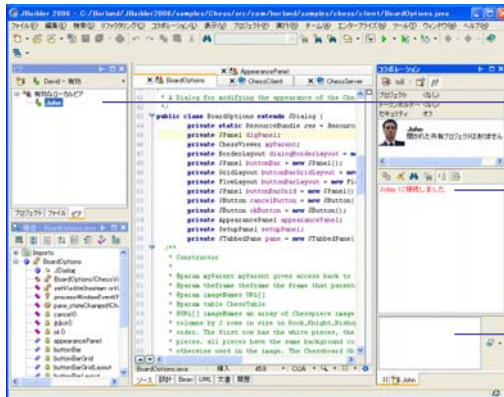
これをチェックするとピアツーピア機能が有効に

あなたの名前を指定

顔写真のアイコンを指定  
(縦横比を規定サイズに伸縮してしまうので、あらかじめサイズをあわせた画像を用意しておくこと)

## ピアに接続

- プロジェクトペインの[ピア]タブに現在接続可能なピアが表示される



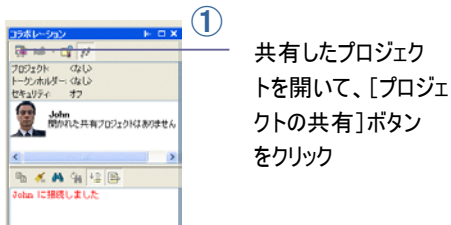
① 接続したい相手を選択

② 接続に成功するとコラボレーションペインに相手の情報が表示される

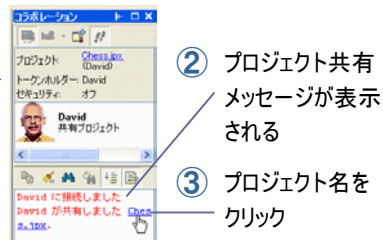
③ チャットを開始

## プロジェクトの共有

- ホスト側**  
 [コラボレーション | プロジェクトの共有]
- リモート側**  
 コラボレーションペインに表示されたプロジェクト共有メッセージのプロジェクト名をクリック



① 共有したプロジェクトを開いて、[プロジェクトの共有]ボタンをクリック

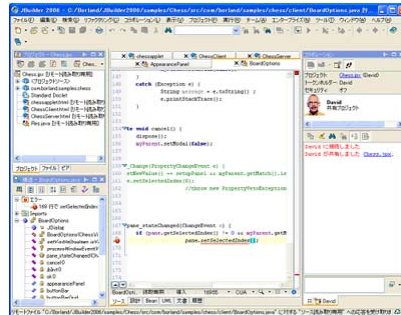
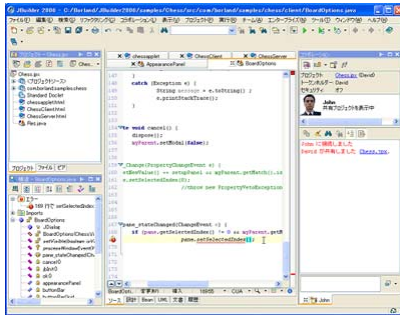


② プロジェクト共有メッセージが表示される

③ プロジェクト名をクリック

## 共有編集

- ホスト側
  - 任意のファイルを編集可能
    - ファイルのオープン
    - カーソルの移動、領域の選択
    - 編集操作 ...
- リモート側
  - ホスト側の編集操作を見ることができる
    - 自動的に表示
    - 自動スクロール、自動選択
    - 編集結果がリアルタイムシンク...



## 編集権を入れ替える - トークン

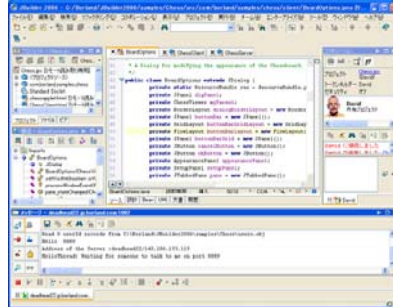
- [コラボレーション | トークンの提供]
  - トークンをリモート側に渡す
  - リモート側に編集権が渡り、ホスト側が、参照のみに入れ替わる
- ホスト側から独立してファイルを開覧したいだけなら...
  - 「トレースモード」をオフにすれば、ホスト側の操作に同期しない
  - プロジェクト内の任意のファイルを開覧可能
  - ただし、ホスト側での修正は反映される





## 共有デバッグ

- トークン所有者がデバッグセッションを開始できる
  - トークン所有者側は、ブレークポイントの設定、ステップ実行、変数の評価／変更などの操作が可能
  - 「トークンの提供」により途中でデバッグ操作を交代可能



**Borland®**

13

Copyright (C) 2006, Borland Software Corporation. 本文書の一部または全部の転載を禁止します。

Thank you

**Borland®**

Copyright (C) 2006, Borland Software Corporation. 本文書の一部または全部の転載を禁止します。